



牛久のお宝

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

第3回 古墳時代の耳飾り



耳飾り
(貝塚台古墳出土)

古墳時代になると、地域的なまとまりが一層進み、支配者たちは権威の象徴として古墳を造りました。牛久市でも古墳時代後期(6世紀)になると、蛇喰古墳(神谷2丁目)などの前方後円墳が造られます。蛇喰古墳の南方約300mにあったとされる貝塚台古墳(神谷6丁目)は、墳丘が削平され残っていませんが、かつて箱式石棺が発見され、内部から人骨2体、直刀5振り、耳飾り1対、鉄鎌が見つかっています。耳飾りは、外径約3cm、重さ約33gで、科学的な分



蛇喰古墳



析の結果、銅の地金に厚さ約0.05mmの銀の薄板を巻き付けた「銀環」であることがわかりました。このような副葬品が出土していることから、貝塚台古墳はこの地域を支配していた有力者のお墓だったと考えられます。

◆今回紹介した耳飾りは、かっぱの里ギャラリー(かっぱの里生涯学習センター内)で展示中

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

第20回

ハリギリ

樹形：牛久自然観察の森
平成24年6月11日撮影



とげ：牛久自然観察の森
平成23年6月23日撮影

センノキの別名があるウコギ科の落葉広葉樹の高木(10~20m)。北海道~九州に分布し、市内では斜面林などに自生しています。若木や樹幹には太いとげがあります。葉は10~30cmの柄があり、葉身は円形で5~9裂し、枝先に

集まってつきます。花序は球状に集まったものが散房状に伸びます。果実は径5mmほどで秋に黒色に熟します。北海道には多く生育し、キリやケヤキの代用として家具や楽器に使われ、高い知名度があります。名前は枝や幹にとげがあり、大きな葉をもつ樹姿をキリに見立てたものです。
※牛久の里山樹木ハンドブック22ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章：伊藤誠、写真：【樹冠】：戸塚昌宏・【とげ】渡辺泰)

文芸サロン | 葉月 |

初尾瀬に友と爽やか風景を
去年よりは少し派手目に更衣
犬子草猫のおもちゃにひいふうみ
海浜の木漏れ陽の中ゆったりと
潮風香るみはらしの丘
参道に人賑ぎし先夏木立
岡村さん
幼子が両手をあげ雀追う
わただ



月田さん
高階さん
サッコ
草葉

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸サロン」係 FAX: 873-2512
E-mail: kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)